



オールなら！

～連携ニュースレター～ vol.1

発行：令和2年4月23日

奈良市在宅医療・介護連携支援センター

TEL：0742-33-5244

奈良市の医療・介護関係者の皆様、こんにちは！奈良市在宅医療・介護連携支援センターです。令和2年に入り、日々新型コロナウイルス感染者が増加していく中、医療・介護関係者の皆様にはご苦労も多いことと存じます。各施設・事業所での感染防止の対策はとられていると思いますが、利用者やその家族等に疑わしい症状がある場合、無症状・軽症者で自宅待機となっている場合等も、対応が必要なことがあるかと思えます。マスクや防護服が医療現場でも不足している今、地域ではさらに手に入らないことも多いのではないのでしょうか。連携ニュースレターの初回は連携センターから、専門職の皆様へ新型コロナウイルス感染症についてや、対策についてお知らせします。

新型コロナウイルス感染症と他疾患の違いは??

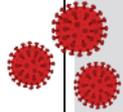
新型コロナウイルス感染症の症状 インフルエンザ・風邪・アレルギーとの違い

コロナとインフルエンザの違いは息切れ等の呼吸症状の有無が特徴的です。また、味覚障害・嗅覚障害も症状の一つとして一般的に言われています。

：CDC(米疾病予防管理センター)資料参考

3密(密閉・密集・密接)を避け、十分に手洗いうがいをしましょう。

『1ケア1手洗い』



	せき	発熱	息切れ	体の痛み	頭痛	疲労感	喉の痛み	下痢	鼻水	くしゃみ	涙目
新型コロナ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○
インフル	●	●	○	●	●	●	●	●	●	○	○
風邪	●	○	○	●	○	●	●	○	●	●	○
アレルギー	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●

● 頻繁な症状 ● 時々見られる ● たまに ● まれに ○ 現れない

www.co.carver.mn.us/covid-19



専門職の皆様から市民へ伝えてもらいたいこと



医療機関にかかる前に電話で相談を！

医療崩壊を防がなければなりません。突然来院された患者さんが、実はしばらく熱が続いていた、と問診時に気づくこともあります。もしその方が感染者で同時間帯に他にも患者さんが居た場合、医師・看護師が十分に防護具を装備できていなかった場合、休診しなければいけなくなる可能性もあります。そうなりといつも診ている他の患者さんが診れなくなってしまう。医療崩壊を防ぐため、医療機関にかかる前に電話で相談して頂くようお願い致します。

医師から、訪問系の事業所さんへ伝えたいこと

自分の身を守ることが一番重要！

- ・就業前の検温及び健康観察
- ・訪問前に電話で状態確認
- ・訪問前及び処置時の手指衛生の実施、マスクの着用、その他標準予防策の徹底

熱のある方、感染症疑いの方への訪問について悩んでいませんか？医師も悩んでいます。発熱、咳等のある患者さんの訪問にはマスク・手袋・ゴーグル(無ければ眼鏡でも)・ガウン(必要に応じて)着用をお勧めします。患者さんは嫌がる場合もあるかもしれませんが説明文書*を作成して説明する等、まず自分を守ることが第一です。サービス提供の前に、利用者もサービス提供者も状態確認をしましょう。(*説明文書例を奈良市医師会/奈良市在宅医療・介護連携支援センターのホームページに掲載しています。)

濃厚接触とは・・・？

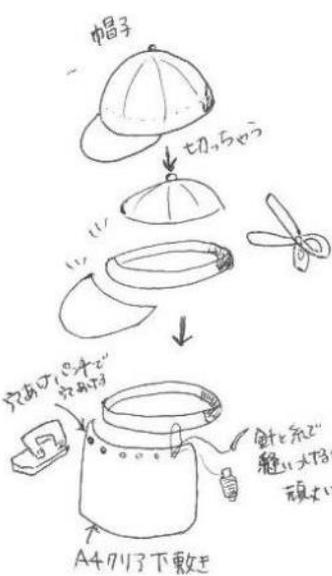
令和2年4月20日付の国立感染症研究所感染症疫学センターからの発表では、①患者(確定例)と同居あるいは長時間の接触(車内、航空機内等を含む)があった者 ②適切な感染防護無しに患者(確定例)を診察、看護若しくは介護していた者 ③患者(確定例)の気道分泌液もしくは体液等の汚染物質に直接触れた可能性が高い者 ④その他:手で触れることのできる距離(目安1m)で、必要な感染予防策なしで患者(確定例)と15分以上の接触があった者 としています。

感染予防策のための个人防护具が足りない…！

个人防护具が不足しており、日本医師会は防護具がなくなったときの代替品の利用を可能としています。代替品の情報はインターネットにたくさん出ています。例:ごみ袋等防水性で使い捨てのものを着用。ゴーグルやクリアファイルで作成したシールドを使って目を守る。連携センターでも作成したものを紹介します。

フェイスシールドの作り方:

大賀式簡易型フェイスシールド(豊橋市歯科医師会)はサンバイザーと下敷きで作成されています。サンバイザーが売り切れだったので、奈良市医師会ではA4クリア下敷きと帽子をカットして作成しました。(許可を得て参考作成物を掲載しています)



簡易版であれば、クリアファイルを眼鏡にセロテープで留めるだけでも。



その他、透明ランドセルカバーに穴をあけて眼鏡を通したり、帽子に縫い付けたり、工夫は色々できそうです。

ガウンの作り方:

大阪大学医学部附属病院のホームページ (https://www.hosp.med.osaka-u.ac.jp/topics/files/document/news_document_04_09_20200416.pdf) に、ポリ袋を切って作るガウンの作成方法が掲載してあります。手軽に作る事ができました！(許可を得て掲載しています)



日本医師会は、血液等に触れる手技の他にも体位交換や車いす移乗など、前腕・上腕が患者に触れるケアを行う時には長袖ガウンの着用を促しています。(無い場合はエプロン可。手指・前腕の適切な洗浄・消毒を！) ※个人防护具を外す際に注意が必要です。汚染部に触れないように、ガウンと手袋は一緒に裏返しながらかきます。日本環境感染学会:医療機関における新型コロナウイルス感染症への対応ガイド等、各種感染対応ガイドを参照下さい。

奈良市医師会は「新型コロナ対策本部」を4月15日に設置しました。早急に相談や決断ができるようにMCSを活用しています。すぐに情報を共有できて、いつでも現在進行形の会議を行っているような状況です。患者さんや利用者の方々にとって、医療や介護サービスが受けられなくなるというのは、大げさではなく命にかかわる大問題です。医師会ではまずコロナ以外の既存の医療を守ることをめざし、そのうえで県や市が設置または今後検討している「ドライブスルー検査」や「ホテル療養」、「発熱者専門外来」への協力ができるかどうか検討することとしています。市民の皆さんの期待に応えられるように、協力して頑張っていきましょう。(奈良市医師会新型コロナ対策本部)

多職種で情報共有ができるSNS

奈良あんしんネット

メディカルケアステーション(MCS)

顔を合わせることができないこんな時こそ、奈良あんしんネットで繋がります！お申込みはこちら ➡

奈良市在宅医療・介護連携支援センター

(奈良市柏木町519-7 奈良市医師会館3階)

TEL: 0742-33-5244